

やまがたの食

山形・金山町産 落花生

BEAUTIFUL PEANUT

ビーナッツ

美味しく、美しい「ビーナッツ」

金山町において、株式会社でん六と、山形大学東北創生研究所が連携して平成30年から栽培が始まったのが落花生、通称「ビーナッツ」だ。金山杉や金山住宅などに代表される町の美しい自然や街並みにかけて美^ビーナッツと名付けており、美味しさはもちろん、その名のとおり色白な殻の美しさが特徴である。

生産者の取り組みと思い

「栽培で大事にしていることは、綺麗で安全で美味しいビーナッツを作る、というイメージを持つこと。」そう話すのは金山町でビーナッツ栽培を行う農事組合法人代表理事の青柳さん。栽培面積と人数の増加を目標に掲げて、月に一度ビーナッツ栽培指導講習会を開いている。栽培マニュアルの作成、新規参入を後押しする取り組みに加えて、栽培にかかる時間が10aあたり約69時間とハードルの低い作物であることは農家にとって魅力的だ。ちなみに最上での有名なニラの栽培時間は10aあたり約480時間！

「土から抜いた時、さやがいつぱいつぱいしているのが面白い」と笑って話してくれた金山町ビーナッツ栽培で唯一の女性農家である柴田さん。落花生は一株に実が40〜60個なるのが一般的だが、金山町の肥よくな黒土で育つビーナッツは60〜80個もなる。稲作と時期が被るビーナッツ栽培は周りに助けられながら、マニュアルを基に頑張っている。「粒が大きいから食感を楽しんでほしい。街角交流施設マルコの蔵などに売っているので一度味わってほしい。」と柴田さん。

ピーナッツの美味しさを発信！

生産者のひとこと

金山町を訪れた時は、金山町も落花生も楽しんでほしい。

金山町新産地開発協議会会長の青柳さん



金山町ピーナッツの「大粒の食感」を楽しんで下さい！

生産者唯一の女性農家 柴田さん



「素焼き」はピーナッツそのものを味わえる一品。



「揚げ塩」おつまみにピッタリな味付け。

マルコの蔵で販売中！



「殻付き」は売切れ必至1月下旬〜販売予定。



金山町の特徴がピーナッツの名前の由来になっているが、ロゴマークにもよく見ると金山町のシンボルが4つも隠れていることに皆さんはお気づきだろうか。

ピーナッツロゴマークのヒミツ

《お問い合わせ》

山形県最上総合支庁農村整備課 TEL. 0233-22-4035 (代表)
金山町産業課 TEL. 0233-52-2111 (代表)

《お買い求め先》

街角交流施設 マルコの蔵
山形県最上郡金山町
大字金山363番地2